

2022 年 度 事 業 報 告 書

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 その人を中心とした認知症ケアを考える会

1 事業の成果

- 1) 研修事業については、新型コロナウイルスの影響により、対面での研修会主催が難しく、2022年度も、Zoom（オンライン会議システム）を用いて、研修会や公開講座などのイベントを年5回開催した。葛飾区、豊島区、認知症の人と家族の会東京都支部他より依頼を受け、対面研修の講師を派遣した。
 - ・多忙な現場の状況を鑑み、講師の了解が得られた場合には、引き続き、後日視聴にも取り組んだ。
 - ・公開講座では、新潟市より実況中継で、marugo-to（岩崎典子氏代表）の皆様の活動を紹介させて頂いた。
 - ・VIPS第2版出版記念セミナーの後、スタートしたCafé VIPSは、隔月第3水曜夜に継続してきた。VIPSに関する疑問や実践例を話題として提供しながら、それぞれの立場でパーソン・センタード・ケアについて意見交換でき、交流の場としても好評を得ている。3月には総集編の会を開き、実践のふり返りとして活用する方針を得た。
- 2) 健康事業では、引き続き、国立市の居場所づくり事業ひらや照らすにおけるメモリーカフェを月1回開催した。市民の方々だけでなく、近隣の専門学校の学生らの参加も増え、7月には、学園祭に出張メモリーカフェとして参加、多世代交流を深めた。
- 3) DCM支援事業は、JPDネットワーク沖縄九州ブロック主催のDCM勉強会に講師として協力させて頂いた。
- 4) 調査研究事業では、当初考えていたDCMや回想ワークについての研修は実施できなかったが、科研費によるケア文化の研究に協力させて頂いた。
- 5) 交流事業では、ニュースレター発行（年2回）、ホームページに年間約10回、活動案内や活動報告、実践報告、関連情報等を投稿、発信した。
- 6) 管理面では、認定期間が終了し、会員は一定程度減少したものの、正会員62名、賛助会員9名、賛助団体9団体が引き続き支援して下さっている。講師依頼や参加申し込みはなかなか回復の兆しが見えないが、当会の強みを生かし、現状に見合った持続可能な運営を目指して、今後も運営に努力したい。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円) (千円)
1) 認知症ケアに関わる様々な専門職による、その人を中心とした認知症ケアに関する研究会・学習会事業	1. 特別講演会：厚東友成氏 2. 公開講座：新潟 marugo-to 3. セミナー：松永美根子氏 4. 実践者学習会 5. 講師派遣：6件 6. Café VIPS	5月 9月 12月 7月 7、8、9、10、11、12、2月 4、6、8、10、12、2月、及び3月	Zoom（オンライン会議システム）によるオンライン開催 胎内市、葛飾区、千葉県、文京区、豊島区、新宿区	のべ50名	東京都ほか各地の認知症ケアに関わる専門職、家族ら約500名	512
2) 健康増進事業	1. くにたちひらや照らす～メモリーカフェ開催11回	4月～1月 3月	国立市	のべ30名	地域住民、高齢者のべ約110名	3
3) 認知症ケアマッピング支援事業	1. JPD ネットワーク沖縄九州ブロック DCM 勉強会	11、12、2月	オンライン開催	のべ3名	認知症ケア事業者約90名	0
4) 認知症ケアの質を向上させるための調査・研究事業	1. ケア文化研究協力	11月～3月	国立市、オンライン会議	のべ5名	認知症ケアに関わる専門職・一般市民	14
5) 情報提供および交流事業	1. ホームページにて情報提供。 2. ニュースレター発行	随時 4月、10月	国立市ほか	のべ20名	ケア専門職ほか一般市民会員のべ250名	1